



2025年11月21日

各位

会社名 株式会社フリークアウト・ホールディングス
代表者名 代表取締役社長 Global CEO 本田 謙
(コード番号：6094 東証グロース)
問合せ先 取締役 CFO 永井 秀輔
(TEL. 03-6721-1740)

(訂正) 「2025年9月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部訂正に関するお知らせ

2025年11月14日(金)に開示いたしました「2025年9月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」に一部誤りがございました。つきましては、下記のとおり訂正し、お知らせいたします。

記

1. 訂正の理由

「2025年9月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」において、注記事項の一部に記載漏れが判明したため、下記のとおり訂正いたします。

2. 訂正の内容

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

【訂正前】

記載なし

【訂正後】

(連結子会社の事業年度等に関する事項の変更)

前連結会計年度において、連結子会社のうち決算日が5月31日であった、UUUM株式会社については、同社の四半期決算日の8月31日を決算日とみなして連結財務諸表を作成しておりましたが、同社が決算日を9月30日に変更したことに伴い、前連結会計年度は2023年9月1日から2024年9月30日までの13か月間を連結しております。

(会計方針の変更に関する注記)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を当連結会計年度の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」

(企業会計基準適用指針第28号2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65-

2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による連結財務諸表に与える影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を当連結会計年度の期首から適用しております。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前連結会計年度については遡及適用後の連結財務諸表となっております。なお、当該会計方針の変更による前連結会計年度の連結財務諸表への影響はありません。

(会計上の見積りの変更に関する注記)

(資産除去債務の見積りの変更)

当連結会計年度において、建物賃貸借契約に伴う原状回復費用として計上している資産除去債務の一部について、退去時に必要とされる原状回復費用に関する新たな情報の入手に伴い、見積りの変更を行っております。

この見積りの変更により、資産除去債務が30,439千円増加しております。また、当連結会計年度の営業利益及び経常利益がそれぞれ7,379千円減少し、税金等調整前当期純利益が17,525千円減少しております。

(本社移転に伴う固定資産の耐用年数の変更)

当連結会計年度において本社移転の決議をしたことに伴い、移転後利用見込みのない固定資産について耐用年数を短縮し、将来にわたり償却期間を変更しております。

この見積りの変更により、当連結会計年度の営業利益、経常利益及び税金等調整前当期純利益がそれぞれ39,128千円減少しております。

(重要な後発事象の注記)

該当事項はありません。

以上